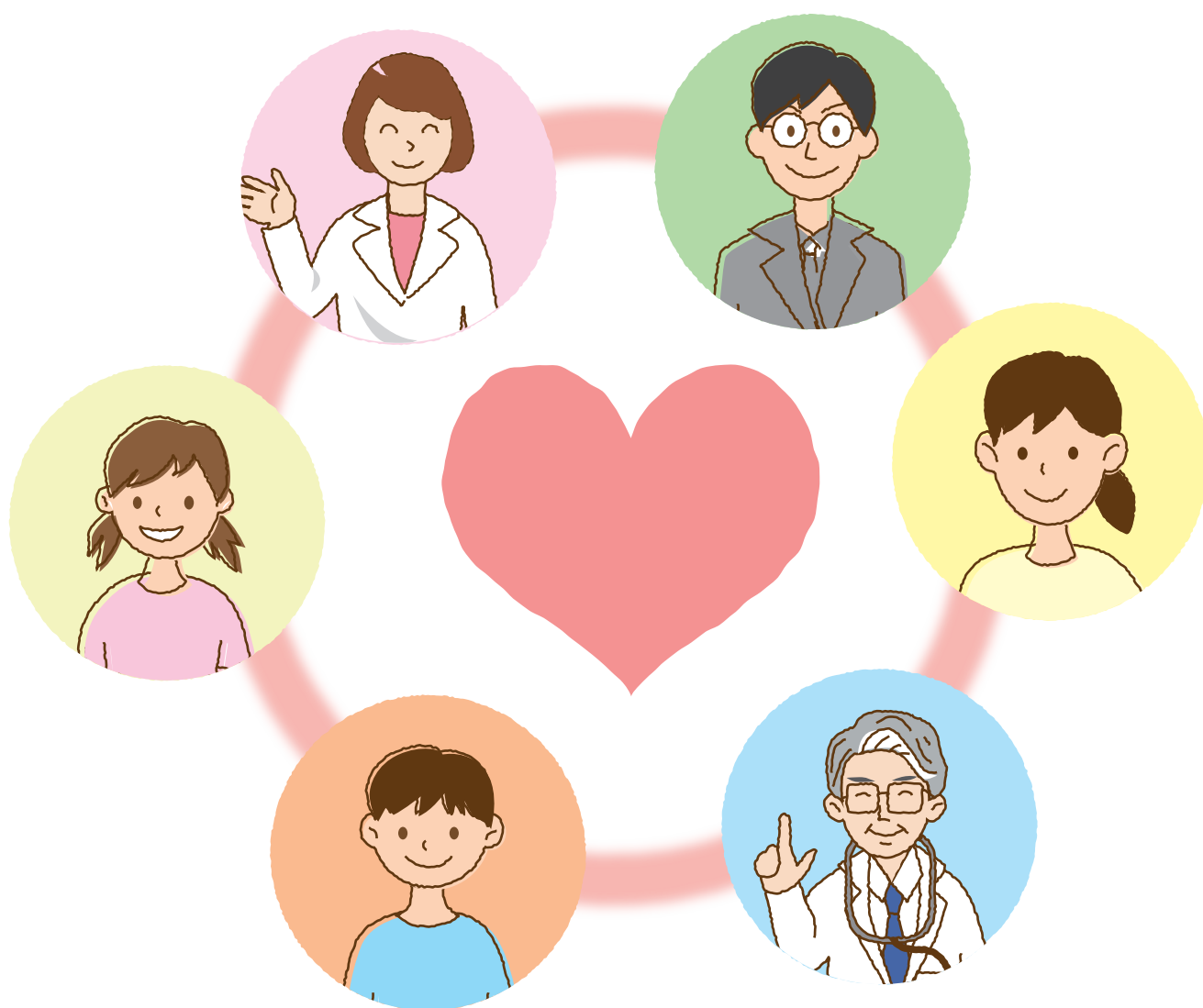


親子の心の診療に関する アンケート調査ご協力をお願い



厚労科研成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究
分担研究者 日本小児心身医学会理事長 村上 佳津美

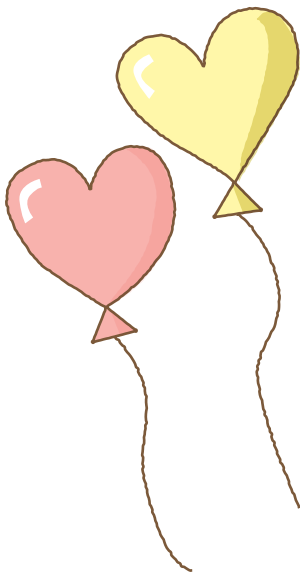
親子の心の診療に関するアンケート協力をお願い

子どもの心の問題に対する社会的関心が高まる中、子どもの心の診療を行う医師への社会の期待は増えています。日本小児心身医学会では、様々な活動を通してこの領域の発展に貢献しています。

さて、子どもの心の問題への対応には、子ども自身へのアプローチとともに、親（保護者、以下「親」）を含めた家族への支援や、親・家族の心の問題への対応が必要となることも少なくありません。治療者が、親や家族の成育歴や家庭状況を考慮して、親の育児感・価値観・心理精神面を理解することは診療上重要です。結果として、親ガイダンスの効果を高め、また親・家族の心の問題への対応にも繋がっていくと考えます。本学会の理念である、「全人的治療」の点からも、子どもの診療に際して、親を含めた家族への支援は不可欠です。また、時には子どもの心の問題の解決に、親を含めた家族への治療が必要となることもあります。

今回、研究担当理事の永光信一郎先生（久留米大学小児科）が、厚労科研「親子の心の診療ガイドライン作成（略）」を取得され、私、村上也分担研究者として参画しています。診療ガイドライン作成のために本学会が貢献できることは多いと考えます。実臨床に役立つガイドライン作成のためには、親子の心の診療に関する課題を明確にする必要があります。このため、理事・評議員の先生方にアンケート調査にご協力頂ければ幸いです。

ご協力、お願い申し上げます。



日本小児心身医学会

理事長 村上佳津美

1. 子どもの心の問題への対応には、親の心への支援が必要と思いますか？

- 非常に思う しばしば思う ときどき思う
 まれに思う ほとんど思わない

2. 子どもの心の問題には、親の心の問題（親自身の親子関係、親の病気等）が関係していると思いますか？

- 非常に思う しばしば思う ときどき思う
 まれに思う ほとんど思わない

3. 関係している場合、それは子どもがどの時期に現れやすいと思いますか。より多いと思われる時期を、2つまで選択して下さい

- 妊娠期
 新生児期（生後4週未満）
 乳児期（1歳未満）
 幼児期（1～6歳）
 学童期（7～12歳）
 思春期（13歳以上）

4. 親の心の支援または診療が必要なときは、主にどのようなときですか？ 3つ選択してください

- 子どもの病気のため、親が二次的に不安や抑うつになっている
 子どもの病気のため、親が子どもに対して過度の欲求または過保護になっている
 1人の保護者（親）に子どもへの対応の負担が集中している
 子どもの家庭内暴力・ひきこもり等で家庭内緊張が高い
 親自身が適切な養育を受けていない
 親自身に精神疾患の既往がある・治療中である
 他の家族への対応で親が困惑・疲弊している（例：きょうだいに慢性疾患がある等）
 親が他の家族からDVを受けている
 親の周囲に支援者がいない・相談する人がいない
 地域の支援・社会的資源がない
 経済的困窮がある
 その他 _____

5. 子どもの心の診療時に、親の成育歴について聞くように心がけていますか？

常に しばしば ときどき まれに ほとんどない

6. 子どもの心の診療時に、家庭環境について聞くように心がけていますか？

常に しばしば ときどき まれに ほとんどない

7. 子どもの心の診療時に、親の育児・養育ストレスについて聞くように心がけていますか？

常に しばしば ときどき まれに ほとんどない

8. 子どもの心の診療時に、1 ケースに充てる時間はおよそ何分ですか？

乳児例 0～15分 15～30分 30～60分 60分以上

幼児例 0～15分 15～30分 30～60分 60分以上

学童例 0～15分 15～30分 30～60分 60分以上

思春期例 0～15分 15～30分 30～60分 60分以上

9. 子どもの心の診療時に、親面接に当てる時間はおよそ何割ですか？

乳児例 0～2割 3～4割 5～6割 7～8割 9～10割

幼児例 0～2割 3～4割 5～6割 7～8割 9～10割

学童例 0～2割 3～4割 5～6割 7～8割 9～10割

思春期例 0～2割 3～4割 5～6割 7～8割 9～10割

10. 親へのガイダンス、親への診療のために、親のカルテを作成していますか？

常に しばしば ときどき まれに ほとんどない

11. 子どもの心の診療における親面接として心がけているものは何ですか？（複数回答可）

- 子どもの心理 / 精神状態の把握
- 親の心理状態の把握と配慮
- 親以外の家族の心理 / 精神状態の把握
- 家族と子どもの生活状態の把握
- 親の成育歴
- 疾病の説明（病態）
- 今後の見通し
- 今後の治療
- 薬物療法
- 子どもへの具体的な対応法（ペアレントトレーニングを含む）
- 子どもの自立を促す・別人格であることを説明する
- 学校や地域との連携
- 各種制度の紹介（手当、支援サービスなど）
- その他 _____

12. 親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？5つを選択して、

に○をつけてください

- 親の精神疾患
- 親の問題行動（家庭内暴力・アルコール依存等）
- 経済的困窮
- 子育ての自信低下
- 親自身の成育歴
- 養育能力不全
- 夫婦の不和・離婚
- 交流が少ない家庭
- 一人親家庭
- 父親の養育不参加
- 子どもへの無関心
- 子どもへの過度の要求・期待

13. 下記の子どもの疾患や心の問題で、親を含めた家族の心の問題の関与が強いと思われるものはどれでしょうか。 5つを選択して、()内に○をつけて下さい

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 習癖（爪かみ・性器いじり等） | <input type="checkbox"/> 夜泣き・睡眠障害 |
| <input type="checkbox"/> チック | <input type="checkbox"/> 遺尿・遺糞 |
| <input type="checkbox"/> 脱毛・抜毛 | <input type="checkbox"/> 分離不安 |
| <input type="checkbox"/> 登園しぶり・不登校 | <input type="checkbox"/> 慢性頭痛 |
| <input type="checkbox"/> 繰り返す腹痛 | <input type="checkbox"/> 転換性障害・解離性障害 |
| <input type="checkbox"/> 発達障害 | <input type="checkbox"/> 起立性調節障害 |
| <input type="checkbox"/> 摂食障害 | <input type="checkbox"/> 違法薬物の使用 |
| <input type="checkbox"/> 抑うつ・不安 | <input type="checkbox"/> 虐待 |
| <input type="checkbox"/> 精神病症状 | <input type="checkbox"/> リストカット・自殺関連行動 |
| <input type="checkbox"/> 若年妊娠 | <input type="checkbox"/> いじめ |
| <input type="checkbox"/> スマホ・ネット依存 | <input type="checkbox"/> その他 |

14. 親・家族の心の診療が必要と思われたことはありますか？

- 常に しばしば ときどき まれに ほとんどない

15. 親・家族を精神科・心療内科に紹介されたことはありますか？

- 常に しばしば ときどき まれに ほとんどない

16. どの様な時に親・家族を精神科・心療内科に紹介されますか？

- 子どもの病気のため、親が二次的に不安や抑うつになっている
- 子どもの病気のため、親が子どもに対して過度の欲求または過保護になっている
- 1人の保護者（親）に子どもへの対応の負担が集中している
- 子どもの家庭内暴力・ひきこもり等で家庭内緊張が高い
- 親自身が適切な養育を受けていない
- 親自身に精神疾患の既往がある・治療中である
- 他の家族への対応で親が困惑・疲弊している（例：きょうだいに慢性疾患がある等）
- 親が他の家族からDVを受けている
- 親の周囲に支援者がいない・相談する人がいない
- 地域の支援・社会的資源がない
- 経済的困窮がある
- その他 _____

17. 親・家族を紹介できる相談先（精神科・心療内科）はありますか？

ある ない

18. 紹介（精神科・心療内科）をするうえで、親・家族への説明に困ることがありますか？

常に しばしば ときどき まれに ほとんどない

19. 親・家族を公的機関や心理カウンセリングに紹介したことはありますか？（公的機関：女性相談所、発達支援センター、児童相談所、福祉事務所など）

ある ない

20. 親・家族を紹介できる相談先（公的機関・心理カウンセリング）はありますか？

ある ない

21. 紹介（公的機関・心理カウンセリング）をするうえで、親・家族への説明に困ることがありますか？

常に しばしば ときどき まれに ほとんどない

22. あなたの職種を教えてください

医師 心理士 その他 _____

***ご協力ありがとうございました。**

Family

